

町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



「台湾お得意技ベスト
セレクション」
齋藤 孝文

これを読むだけで旅する前に台湾通になれるかも。知っていたらお得な裏技を紹介します。

町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「平成! 思い出しクイズ」
発行 マイウェイ出版

この1冊で「平成」の30年がまるわかり。脳活にも最適な本です。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中からおすすめのものを選びました。バラエティに富んだ本を紹介いたします。

長島 文芸

Nagashima Bungei ながしまぶんげい

長島短歌会

泡立てるビール一杯に酔ふ孫と半年振りの夕餉は
楽し 松元 睦子

茜色ひと時輝きたちまちに黒雲出で来海より暮る
る 岩下 ち江

「さみしい」と呟く媪にすれ違ふ年の瀬小雨の橋
のたもとに 榎平 頼子

洗ひ立ての作業着匂ひ元日の朝も仔牛にミルク溶
きをり 米尾 和子

羽織着て黒足袋を履きしきたりの屠蘇で祝ひたる
亡夫を偲びぬ 坂之下典子

明けやらぬ夜来の雨に舗装路の新しき白線浮き立
ちて見ゆ 中山タマエ

わが前の海面は風ぎてあかあかと落ちゆく夕日さ
ながら円か 浜田美代子

刈り跡の泥の香こもる田に群れて雀らせわしく稲
株あさる 浜畑 松枝

明神俳句会

こりこりと酢なまこ食らひ島焼酎
極月の農機具に差す潤滑油 淵脇 護

木枯らしや降らぬ限りは農婦たり
火の島の風は東枇杷の花 迫口 君代

満月にそっと寄り添う枇杷の花
枇杷の花固く結んで茂木の町 白男川孝仁

日脚伸ぶ世界遺産の島巡る
山寄加代子

赤子泣く授業参観冬ぬくし
靴音の追い越していく十二月 脇田 武志

日めくりの日々急ぎ立てる十二月
入相の郷は深々片時雨 関 佳代美

十二月二年つづきの日誌買う
十二月二年つづきの日誌買う 関 喜久雄

十二月二年つづきの日誌買う
十二月二年つづきの日誌買う 二階堂恵子

一般作品

「短歌」

この地球に乗りて宇宙をひと回りさすれば吾は
七十五となる 小林 貢

大寒の朝に震えて立ちおれば周りは総て霜光りた
り 小林 如月

山茶花の花咲くかぎり木の元は赤いじゅうたん敷
きつつまれる 後藤ヨシエ

海沿ひの鰯刺し美味き居酒屋の再開ならず台風三
つ 母木 良平

人間は一度生れて二度死ぬない何こだわらず我れ
生るなり 町田 末則

「俳句」
疲れたる五体ぞ半世紀も服む薬 宗方 清明